

【22_232思考系メルマガ】答えがない世界ゆえの難しさ

〇〇さん

こんにちは！クログキ(クロ)です。

絶対的な「こたえ」のないFXトレードの世界で一番難しい問題といえば

「自分のやっている事が“ただしい”のか」という疑問(≡不安)にどう対処するか？ですよね。

トレードをしていれば、利確できた時は「自分の判断が正しかったのだ」と安心する一方で

損切りになった時は、逆に自分の判断が否定された気持ちになって、不安が増大する。

これが恐らく、「損切り」をキッカケに生じるポジポジ病の原因のひとつにもなるのかもしれませんが。

ですが、長く僕のメルマガを読んでくれている皆さんはもう察してくれているかもですが(笑)

当然ながら、このような「ただしい / まちがい」を結果軸だけで判断するのは違うというのが僕の考えです。

今日はこの、『答えが無い問題』に対して僕らはどう向き合っていくべきなのかという

『考え方』にフォーカスしていきたいと思います。

□
└─ ■ 検証でもトレードでも「こたえ」を求めてはいけない

サロンメンバーの一部の方は、自主的に自分のトレードや考えをTwitterでアウトプットしてくれたりしているので

僕はメンバーのリストを勝手に作って、定期的にタイムラインを追っているのですが

真剣に取り組んでいるが故、ぶつかる壁も沢山あって、今回はその中の一部を共有します。

▼あるサロンメンバーのツイート▼

https://twitter.com/okometabero_fx/status/1557210265883537408?s=20&t=l6ybNjE5xHSUTmp1i_9vqg

添付画像があるので、今回はリンク先をそのまま転載します。

この方は、今『型』の定着に向けて何百というチャートを切りながら『MA収縮+3波』のトレードを実践しようと頑張っています。

今回、このツイートをとり上げたのは、どんなスタイルで検証していてもぶつかる壁となる

「ちょっとだけ条件と違う(けど大体認識が合っている)チャート」を見つけた時

これは実際にトレードすべきなのかどうか？という悩みを多くの人が抱えているだろうと思ったからです。

心当たりがある人も多いのではないかと思います、自分の心の内に留まっていて

具体的に言語化してみた事がある人までは、そう多くないかもしれません。

さて、今回はこの問題を深掘りするのですが

皆さんは上記のツイートの示されているような、各々のスタイルにおいて「ちょっと理想形とはちがうチャート」を見つけた時、どうしますか？

この先に僕の考えを書きますが、読み進める前にちょっとだけ

自分の中で考えてみてください。

- ・
- ・
- ・

いいですかね？

もちろん、これが絶対唯一の考えではないのですが

僕の場合は、『利回りを平準化する(満遍なく勝ち負けを分散するして、平均的な利益を出す)』ために

時間帯を限定した短期デイトレ に軸足を置いているので

極力チャンスは広く待つスタンスです。

なので、あまりガッチリと細かいエントリー条件は限定せずに

最低限のエントリー条件を満たしていれば、他の細かい点は裁量判断で「よし」としています。

大雑把に、僕のエントリーの判断軸として重要な項目を掲げるとこんな感じです。

～～

- ・M15-M5足のMAが収縮している事(揉み合いを経て動き出す前であること)
- ・動き出しの『1波』と認識できる動きがあること
- ・H1 / 20SMAとの位置関係、H4足以上の空間が、目線方向に広く取れている事
- ・リスクワードのバランスは1:2～3が確保されている事
- ・原則、ロンドン初動

～～

これくらいです。

ここに、更に細かい条件を入れる人もいれば、もっと条件を緩くする人もいるかもしれません。

この辺の調整をして、利回りがプラスになる自分なりの条件の緩急を決める作業が

前にも説明した『フォワードテスト(デモトレード)』なのです。

ここでプラス収益を出せないのなら、いくらリアルトレードをやっても勝てるはずがないですからね。

自分のチャートの見方だったら、どの条件は縛っておくべきなのか？

逆に縛り過ぎてエントリー回数が少なすぎると思うのなら、どの条件を緩めると

程よくチャンスが分散され、かつトータルの利益をプラスにできるのか？

この匙加減を調節しながら、少しずつ(自分にとって)丁度いいルールを作っていくわけです。

マジメに取り組む人にありがちなのですが

「最初に決めたこの条件に、絶対はまらなきゃトレード出来ない！」とガチガチに固め過ぎてしまうと

「デイトレなのに1週間ノートレードでした・・・」なんてことが起こってしまいます。

もちろん、そんな日が無いわけではないでしょうが

それでは資金は減りませんが、そもそもリスクを取ってないので言葉のまま

「何もしていない」状態になってしまい、これでは稼げる状態とは言えませんよね。

トレード自体、最初にも書いたように「絶対的な正解」はありませんが

一貫した方法に則って最終的な利回りがプラスになれば、どんなやり方でも正解なのです。

数字が答えだ ということですね。

難しい問題ではありますが、今回紹介した『緩急の調節』が

ルール作りには必要である点は、心の中に留めて今後の検証に励んでいただけると幸いです。